学校番号	3005

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現　改訂版」（大修館）						
副教材等	国語表現基礎練習ノート（大修館）、常用漢字ダブルクリア（尚文出版）、 カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文章記述や発表を中心に授業を展開するため、積極的に取り組みましょう。
プリントは指示通りノートに貼るか、もしくはファイリングしてください。返却された課題等についても添削された所を確認して次回に活かしましょう。
提出物は期限厳守です。科目の性格上、課題提出による評価の割合が高いため注意しましょう。
『国語表現基礎練習ノート』は、指示に従い予習をして授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。
実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につける。
言語活動をとおして実践的に学習することで、進んで表現する姿勢を身につける。
自分の思いを文章にまとめたり、人に伝わるように自分の考えを話したりできる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	学習活動への参加 姿勢や態度 プリント ワークシート 記述の点検	学習活動における 発言内容や態度 プリント ワークシート 記述の点検	レポート、感想文などの作成した文章 プリント ワークシート 記述の点検	学習活動における発言内容や態度 プリント ワークシート 記述の点検 定期考査	学習活動における 発言内容 プリント ワークシート 記述の点検 定期考査

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	書いて伝える	［教材］ ・整った文を書く ・分かりやすい文章を書く ・文のつなぎ方 ・絵や写真を見て書く	○		◎		○	a:場面に応じた表現に関心が持てる。 c:相手に伝わる文章の書き方と、原稿用紙の使い方を理解している。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 c：ワークシート 記述の点検 e：定期考査
	小論文・レポート入門	・小論文とは何か ・反論を想定して書く ・文章を読み取って書く ・資料を読み取って書く ・発想を広げて書く ・実践トレーニング(1)	○		◎		○	a:作文・小論文・レポート等様々な文章の書き方を理解している。 c:資料や文章の要旨を的確に理解し、筋道を立てて自分の考えを書くことができる。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 c：ワークシート 記述の点検 e：定期考査
	自己PRと面接・スピーチ	・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう ・志望動機をまとめよう ・【参考】履歴書の書き方 ・面接にチャレンジ ・スピーチの練習 ・実践トレーニング(2)	○	○	◎		○	a:着きたい職業や進路について必要なことを調べ、情報を収集できる。 b:相手に伝わるようにスピーチができる。 c:効果的な自己ＰＲや志望動機を書くことができる。 e:紛らわしい漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a：発言 b、c：行動の観察及び記述の点検 c：ワークシート e：定期考査
後期	会話・議論・発表	・声のコミュニケーション ・相手や場面に応じた会話	○	◎			○	a:聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見がある。 b:適切な言葉遣いで話すことができる。 e:場面にふさわしい言葉遣いを考えようとしている。	a：発言 b：行動の観察及び記述の点検 ワークシート e：定期考査

	小論文・レポート入門・メディアを駆使する	・レポートを書く ・論文を書くために ・通信文を書き分ける ・電話を使いこなす	○		◎		○	a:レポート・論文の基本的な書き方を理解している。 c:客観的な根拠を集めて説得力のある文章が書ける。相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書くことができる。 e:相手に応じた適切な言葉遣いや応対の仕方を理解している。	a：発言 c：行動の観察及び記述の点検 e：定期考査
	会話・議論・発表	・建設的な議論の進め方 ・プレゼンテーションの工夫 ・【参考】ディベートを楽しむ	○	◎			○	a:話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 b:建設的な議論や説明になるよう協力しながら話し合い、発表する。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 b：行動の観察及び記述の点検 e：定期考査
	表現を楽しむ	・言葉で遊ぶ ・エッセイを書こう	○		◎		○	a:さまざまな言葉遊びを知り、面白さを味わうことをとおして、言語文化に対する理解を深めている。 c:読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら、自分でエッセイを書くことができている。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 c：ワークシート作品 e：定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している